

# 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、**警告**、**注意**の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

- 絶対に行わないでください。
- 必ず指示に従ってください。

<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
	引火する危険のある雰囲気で使用しない。 (ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使用しない) (火災の原因)
	天井直付・半埋込兼用器具です。傾斜天井や補強のない天井には取付けない。 (指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
表示された電源電圧以外では使用しない。 (火災・感電の原因)	必ず当社のMyシリーズパネル専用器具本体とライトユニットとの組み合わせで使用する。 (落下・感電・火災の原因)

<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
	高温(35℃を超える)、高湿度(85%RHを超える)、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない。(落下・感電・火災の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない。(劣化による落下の原因)
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
屋外や風呂場など水や湿気が多い場所では使用しない。一般屋内用器具です。(火災・感電の原因)	器具は指定の制御装置と組み合わせて使う。 (過熱して火災の原因)

## お願い

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。
- 油煙のある場所では使用しないでください。光学特性が低下する原因となります。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。すき間が発生することがあります。
- 電源事情の悪い場所では、LEDがちらつく恐れがあります。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。
- 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源をご使用の場合は両切スイッチを使用してください。スイッチを切っても微発光する現象の原因となります。

## 保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><b>無償修理</b><br/>照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。<br/>※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>無償提供</b><br/>LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。</li> </ul> |
|--|---|
- ・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

## 異常時の処置

**警告**  
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。  
(火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、**まずお買い上げの販売店・施工者・設備業者へ**

三菱電機株式会社  
三菱電機照明株式会社  
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

相談窓口 照明技術相談センター  
0120-348-027 (無料)  
受付時間 9時～17時 (土・日・祝日は除く)  
FAX (0467) 46-8861

お買い上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。



## 三菱 LED 照明器具

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズパネル 直付・半埋込兼用形 □ 413 トリムレスタイプ

形名 **EL-SC-H44000**

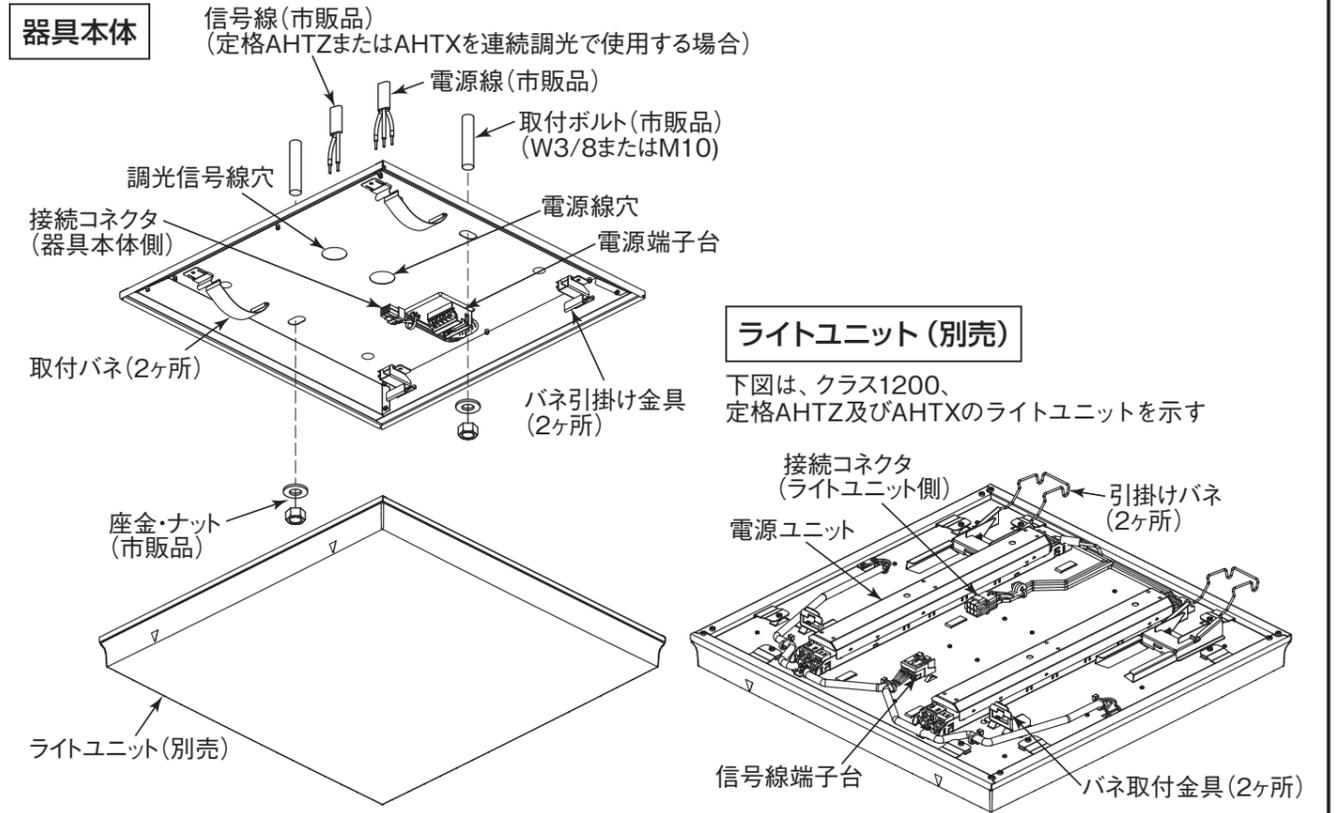
## 据付工事説明書 取扱説明書

- 施工の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。
- 電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

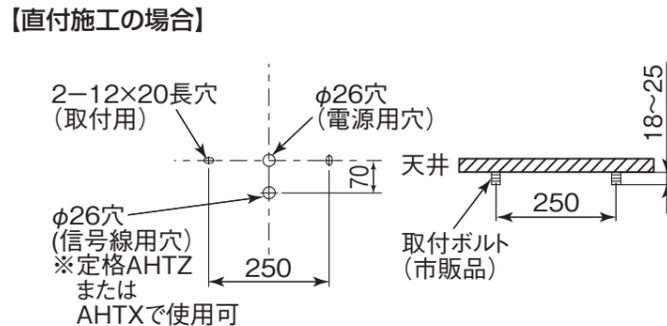
保管用

当社 My シリーズパネル専用器具本体とライトユニット (□ 450 形) の組み合わせで性能を満足します。

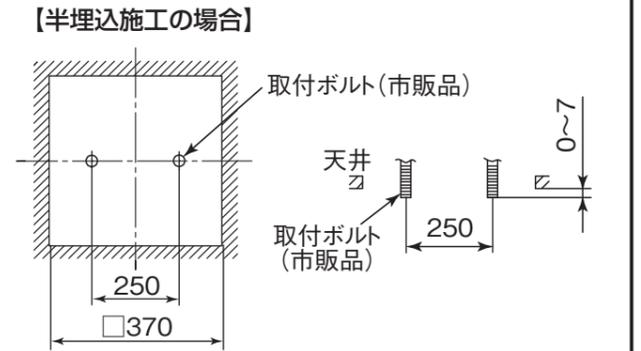
### 各部のなまえ



### 取付穴 (単位 mm)



### 埋込穴 (単位 mm)



# 各部のなまえと取付かた

## 1 取付前の確認

- 器具質量(約1.0kg+ライトユニット質量)及びライトユニットの引き下げ力(120N)に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
  - ・ライトユニットの質量はライトユニット同梱の取扱説明書を確認してください。
  - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。

**警告**  
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける(落下の原因)

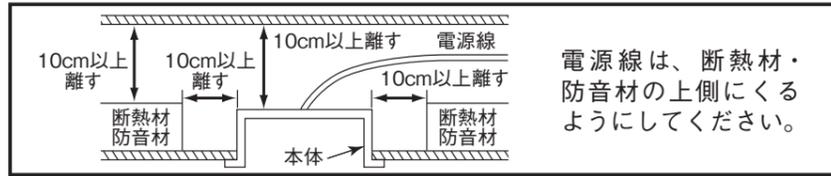
## 2 天井に埋込穴をあける ※半埋込施工の場合

埋込穴、取付ボルトを前ページのように用意する。断熱材施工不可

**警告**  
断熱施工天井に取付けない(火災の原因)



断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



## 3 本体を取付ける

- 電源線・アース線を本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- 定格AHTZまたはAHTXを連続調光で使用する場合は、信号線を引き込む。
- 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。(ゆるみ止め:ダブルナット・歯付座金など) ナットの締付トルクは0.6~0.8N・mです。
- 取付ボルトが器具取付面と垂直であることを確認する。

締付トルクが大きすぎると、器具変形、天井面とのすき間の原因となります。



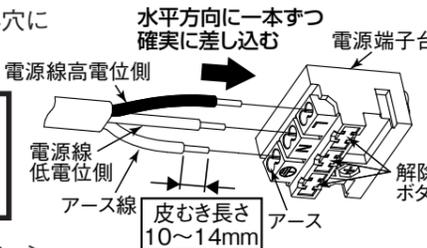
**警告**  
取付けが不完全な場合落下の原因

**注意**  
器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する(けがの原因)

## 4 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

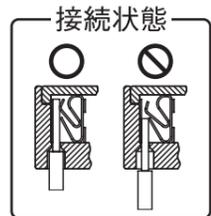
**警告**  
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)



<D種(第3種)接地工事が必要です。>

- 電源線を電源端子台の差し込み穴に一本ずつ水平方向に確実に差し込む。
- 適合引込み電源線: φ1.6mm EM-EEF単線 または φ2.0mm EM-EEF単線
- ※明るさタイプ12000lm, 8500lmタイプのライトユニットを使用する場合は、電源線を耐熱チューブで保護する。耐熱チューブはライトユニットに同梱されています。

**警告**  
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因  
電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

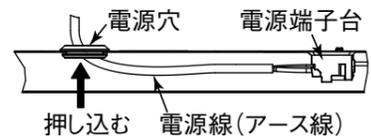


**警告**  
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

- 電源線を電源端子台から取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、解除ボタンにまっすぐに差し込む。
- 電源端子台の送り容量はライトユニットとの組合せにより変化します。(右表参照)

明るさタイプ	送り容量
12000lmタイプ	11A
8500lmタイプ	11A
6000lmタイプ	12A

- 電源線(アース線)の接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を押し付ける。

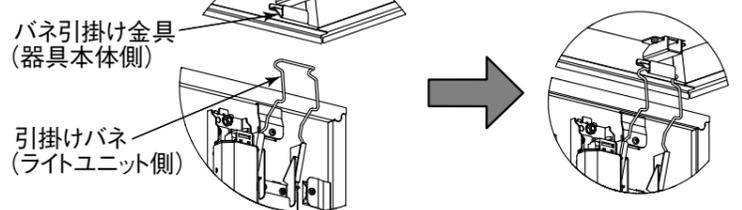


## 5 ライトユニットを本体に取付ける

- 器具本体側にライトユニットを仮付ける。  
○ライトユニットの引掛けバネを引き出す。

**注意**  
引掛けバネを過度に変形させない(落下の原因)

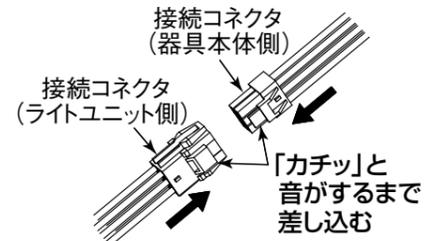
- 引掛けバネを器具本体両側のバネ引掛け金具に掛ける。



**注意**  
引掛けバネを片側のみ引掛け金具に掛けた状態で保持しない(落下の原因)

- 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。

**警告**  
・不完全なコネクタ接続はしない(火災の原因)  
・通電中、コネクタの抜き差しをしない(感電の原因)

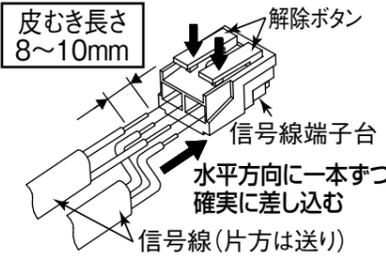


- 信号線を信号線端子台に接続する。(定格AHTZまたはAHTXを連続調光で使用する場合のみ) 信号線を信号端子台の差し込み穴に水平方向に一本ずつ確実に差し込む。

- 適合引込み信号線: φ0.9mm EM-FCPEE-1P単線 または φ1.2mm EM-FCPEE-1P単線 接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
- 信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、解除ボタンを押す。

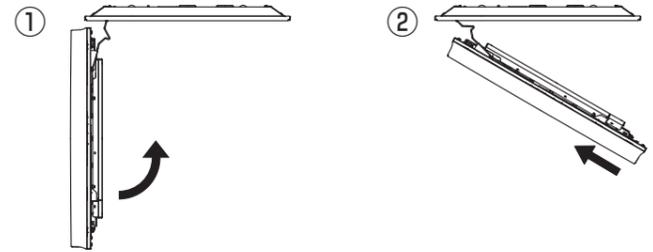
**警告**  
信号線端子台には電源線を接続しない(過熱・損傷し火災の原因)

○お願い  
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけない(破損の原因)

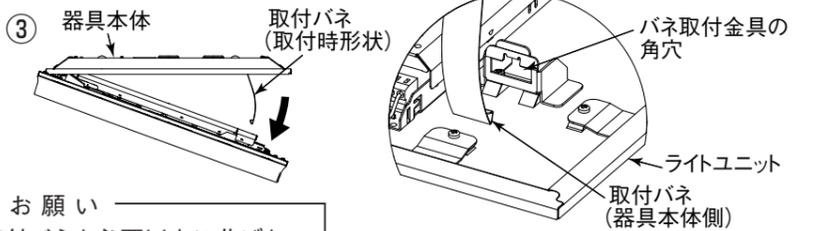


- 信号線の接続後、ライトユニット取付時に余分な信号線は、はさみ込みを防ぐため信号線穴に押し込む。
- (注) 当社制御装置との組合せにより、定格モードにおいて連続調光が可能です。
- 節電モード時に調光信号を入力すると、定格モードへ切替わります。
  - 調光信号を入力しても入力前の点灯モードを記憶しています。入力を解除した場合は、記憶している点灯モードで点灯します。

- ライトユニットを取付ける。  
○ライトユニットを器具本体側に押し上げ、スライドさせて保持する。



- 器具本体の取付バネを下げ、ライトユニット両側のバネ取付金具の角穴に入れる。



○お願い  
取付バネを必要以上に曲げない(取付不良の原因)

- ライトユニットを器具本体側に押し上げる。



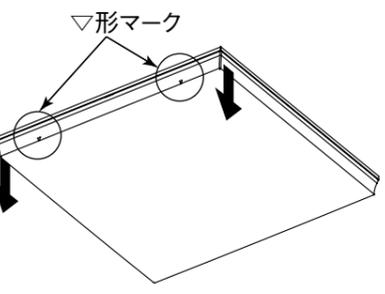
**警告**  
コネクタ・リード線を挟み込まない(火災・感電の原因)

**注意**  
○押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない(けがの原因)  
○器具本体とライトユニットの間にすき間がないか確認する(取付不十分は落下の原因)

○取付けは、上記①→②→③→④の手順で行う。

## 6 ライトユニットの取外しかた

- ライトユニットの▽形マークを目印に、両手でライトユニットの側面部を持ち、引き下げる。



**注意**  
・点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない(高温のためやけどの原因)  
・指定の▽形マーク部以外を引き下げない(破損の原因)

○取外しは、上記の逆の手順④→③→②→①で行う。